

猫を通じて生まれた交流や、猫と過ごす癒しの時間を 多くの人たちと分かち合い、命の大切さを伝えたい！

猫カフェいろり 望月辰哉さん

2019 年度志太ビジネスプラングランプリで金融協会賞を受賞。心が弱っていた時に猫と触れ合うことで救われた自身の経験から、保護猫を引き取り世話をしながら譲渡先を探す猫カフェを 2020 年 1 月にオープンした。猫を飼いたい人、また飼えないけれど触れ合いたい人などが訪れ、猫との時間を愉しんでいる。



起業までのいきさつ

幼少期より猫が好きで、これまで 10 匹以上の捨て猫を保護し育ててきました。保護されても殺処分されてしまう猫の多さに胸を痛め、少しでもそんな猫を減らしたいという思いから、猫を飼いたい人と保護猫との接点の場として保護猫譲渡型の猫カフェをつくることを決めました。起業にあたり必要な資格を取得するために、静岡市内の猫カフェで実務経験を積み、2020 年 1 月に「猫カフェいろり」をオープンしました。

起業する上で大変だったこと

開業場所を探すことが本当に大変でした。猫たちの生活の場になるということで、猫を受け入れてくれる大家さんを探すことから始めました。地域の不動産屋を 1 軒 1 軒回り、事情を説明して歩きました。また創業資金の確保も大きな課題でした。日本政策金融公庫の融資を受けたり、県や市の補助金を活用したりして賄いました。開店して間もなく新型コロナウイルスの感染が拡大し、積極的な宣伝や集客がしにくい社会情勢になってしまいました。SNS を中心に PR しながら、今は地道にやるしかないという覚悟を決めています。



起業してよかったと感じるとき

会社に勤めていた時よりも、仕事とプライベートの割合や生活のリズムはよくなりました。好きな仕事で苦にはならないものの 24 時間 365 日、猫の世話をするのは大変ですが、ありがたいことにボランティアで手伝ってくれる人もいます。お客さんの中からもそういう人がいて助かっています。里親

になった方がまた来店して、もらわれていった猫の報告をしてくれる時もやっていて良かったと感じる瞬間です。ただ譲渡は簡単ではなく、猫の性格と里親になる家の環境がうまくマッチしないと成立しません。そのためにお試し期間などを設けて、じっくり時間をかけて最善の方法を見つけています。また夏休みの宿題ということで、小学生のインタビューを受けました。子どもたちの情操教育の一端を担っているという実感もあります。大人向けにはヨガ教室を始めました。猫と戯れながらゆったりとヨガの時間を愉しむリピーターで賑わっています。今後は婚活パーティーなども企画してみたいと思っています。



これからエフドアを利用する人に

初めは起業したいと思っていても、事業の進め方については漠然としていた状態でした。静岡市に創業支援を行う施設があるので、藤枝市にもあるのではないかと調べてエフドアにたどり着きました。やりたいことは決まっていたが、それを実現するまでの道のりがふわっとしていたし、事業主になるということもどういふことなのか初めは分かりませんでした。そういうことをエフドアに相談しながら解決することができました。

猫カフェいろり

所在地：藤枝市駅前 2 丁目 8-10 富山ビル 1 階
HP：<https://www.catcafe-irori.com/>

Information